



# 進路指導だより

令和7年3月

鹿児島聾学校進路指導部

文責 益 千寿

今年度も残すところ、あと少しとなりました。保護者の皆様におかれましては本校教育活動への御理解・御協力に対し、感謝申し上げます。

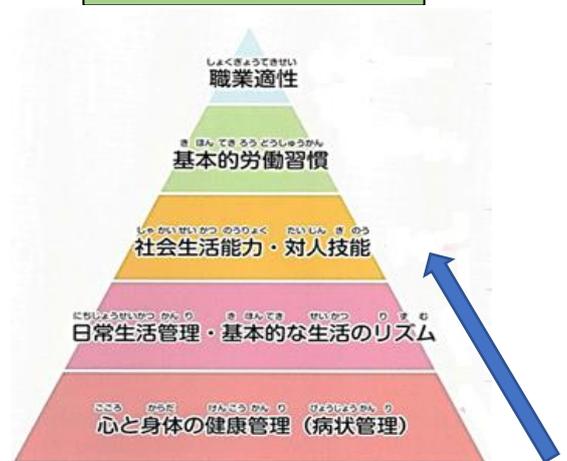
さて、進路指導部では1月に就労継続支援 A 型ワークスペースコケットで就労している卒業生の豊増杏奈さん、店長の伴真哉さんを招いて進路講演会を実施しました。講話の中で、「作業能力や技術はあとからついてきます。まずは体調管理、自己管理、出勤率が大事です。」という言葉が印象に残りました。今回は、職場が求める力についてお伝えします。

## 働くために必要な準備とは??

『職業準備性ピラミッド』（右図）を知っていますか。職業準備性とは、働くための準備が整った状態のことです。どのような準備が必要か、その内容を分かりやすく図に表したものを『職業準備性ピラミッド』と言います。ピラミッドは、下から積み上げていくものですよね。同じく、働くための準備においても、土台となる基礎が底辺部分になります。

下から順に、「心と体の健康管理」、「日常生活管理・基本的な生活リズム」、「社会生活能力・対人技能」は、一般就労、福祉就労問わず、高等部卒業までに身に付けてほしいという声をよく聞きます。

### 職業準備性ピラミッド



(障害者就業・生活支援センターパンフレットより)

### 心と体の健康管理

働くための最も土台となるものです。社会人になると、1日8時間程度の仕事をやり遂げることが求められます。そのためには、体調が悪いときは早めに就寝したり、毎日必要な食事はしっかり取り、時には身体を動かしたりして自分で健康管理できるようになる必要があります。

### 日常生活管理・基本的な生活のリズム

決まった時間に起きて遅刻をせずに毎日仕事に行くこと。簡単なことのようにですが、社会人として求められる大切な力です。仕事内容によっては、作業ミスや大きなけがにもつながります。また、公共交通機関の利用や買物などが1人でできること、金銭管理ができることも含まれています。

### 社会生活能力・対人技能

職場では、周囲の人と仲良くできること、協力して作業ができることなどの協調性やコミュニケーション力が求められます。注意をされたときに、イライラせずに気持ちのコントロールができることも大事です。



## 働くための準備を始めるのはいつ?

このような働くための土台となる準備は、早い段階から繰り返し取り組むことで、徐々に定着できるものだと思います。次の日が学校なのに、夜遅くまでスマホなどを見ていて朝から「ぼーっ」としている人はいませんか?遅刻や欠席を減らせるように、体調管理に気を付け、生活リズムを整えましょう。学校での指導だけでは難しいこともありますので、各御家庭の御協力もよろしくお願いいたします。

## 中学部・高等部生の働く姿

中学部は職場体験学習、高等部は年2回のインターンシップを通して、働くことについて学習しました。一部ですが、紹介します。



平川動物公園



南九州市立川辺図書館



薩摩ワッフル（就労継続支援 B 型）



鹿児島中央駅



霧島市役所



支援センターJOE（就労継続支援 B 型）



ラスター（就労継続支援 A 型）



かやの郷（就労継続支援 B 型）



太陽の丘（就労継続支援 B 型）



エルアクト（就労継続支援 A 型）



ワークサポートひとつ（就労継続支援 A 型）

### 高等部3年山下諒翔さんに、卒業後頑張りたいことを聞きました。

インターンシップでは、仕事の指示をしっかりと聞いて仕事をするためにコミュニケーションをとることが大事だと学びました。「ワークサポートひとつ」では、メモを取って積極的に行動していきたいと思います。

県特別支援学校技能検定  
清掃部門4級を取得しました。



山下さんは、4月から「ワークサポートひとつ」で働きます。今後が楽しみです。